



第47号
 発行者／青森県更生保護女性連盟
 代表／塩原誓子
 青森市長島1丁目3-28
 プラザあすなる内
 TEL 017(734)6211



素晴らしい活動が続けること

青森保護観察所

所長 木村 敏章

続くコロナ禍で更生保護女性会の活動が思うようにできなかつたなか、昨年11月には「秋の集い」が五戸地区女性会の万全な準備の下、和やかに開催されたことは、とても嬉しく意義のあることだと思えます。

さて、コロナ禍で活動が低迷しているところ、今、急激に会員が減少しています。県内の地区数・会員数も平成15年頃が一番多く30地区・3,015人でしたが、令和3年には22地区・971人と減少しています。青森県に限ったことではなく全国的なことですが、全国の減少率が31.5%に対し、青森県は67.8%と倍以上のスピードで減少しています。これを何とか食い止め、増加させるための対策を講じなければならぬと思えます。

実は保護司も全国的に減少しており、青森県においても急激に減少し高齢化が進み、10年後には現員が半数になってしまうため、令和2年6月に青森県保護司会連合会と保護観察所が総力を挙げて保護司の適任者確保に取り組むため「青森県緊急対策本部」を設置しました。地区保護司

会単位に対策チームを立ち上げ、これまでの各保護司からの推薦による候補者の確保に加え、対策チームによる新たな団体や機関への働き掛けや地方公共団体への協力依頼などを行っています。その結果、減少が増加に転じ、比較的若い方にも保護司になっていただき高齢化にも歯止めがかかってきています。

更生保護女性会においても、同様に会員の急激な減少について会員全員が問題意識を持ち、その対策のための知恵を出し合い、そして連盟・地区会として具体的な対策を講じていく必要があると思えます。さらに、保護司会や関係団体と連携を深め協力し、コロナ禍で低迷する更生保護活動を一緒に盛り上げていくことも大切なことだと思えます。

皆様が地域に根差した更生保護女性会らしい、素晴らしい活動を続ける限り、きっと多くの素敵な仲間が集まってくると思えます。本年も笑顔で楽しくがんばりましょう。



笑顔で楽しく頑張つて

青森県更生保護女性連盟

会長 塩原 誓子

令和四年を迎え皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。また平素の連盟へのご協力に厚く御礼申し上げます。

さて、コロナウイルス感染拡大と云う経験したことの無い困難な生活も三年目に入り、一向に収束の兆しが見えませんが、特にはじめの頃は各地区会の活動状況を心配いたしておりましたが、コロナ禍だから何も出来ないと思わらぬことなく、さつそく地域の状況に促して必要とされている物を手作りし、施設・学校・社協等の関係団体に寄贈し喜んで頂いたことを知り、たいへんうれしく、皆様の行動力に「困っている人」に手を差し述べずにいられない「ほつとけない」更女の心を感じました。

その後も集合しての会合や研修は延期、中止の状況となり青森県が当番開催県だった東北研修もテレビ会議システムで行いました。参加者十名は社明運動の黄色いTシャツを着用し、りんごを机上に力を合わせて無事に終えることができました。内容は報告書としてまとめたものを各地区会に送付させ

ていただきましたので共有し参考にしていたければ幸いに存じます。

同じく延期されていた第五十三回「秋の集い」は五戸地区更女会の多大なご尽力により開催することができ、深く感謝致しております。同じ志を持つ仲間が一堂に会し長年の功労受賞者をお祝い出来ましたことはたいへんうれしく有意義な時間でした。

振り返りますと当連盟は昭和三十七年に東北で初めて結成され、今年六十周年を迎えます。以来、先人達の熱い思いを受け継ぎ、各地区が地域に促した活動がなされています。会員各位のボランティアに対するお心に深く敬意を表します。

今後とも「弱い立場の方」「困っている方」そして「立ち直ろうと一生懸命に頑張っている方々」の心に寄り添いお役に立てるように皆さんと力を合わせ笑顔で楽しく活動したいと思えます。

どうぞよろしくお願い致します。



新会長ご紹介



弘前地区
更生保護女性会
会長 吉本 睦子

各団体の皆様と連携を とりながら一歩ずつ前進

弘前地区更生保護女性会は、1960年県内2番目の更生保護女性会として発足し、平成22年5月21日に50周年記念式典を行い「犯罪のない明るい社会づくり」を誓いました。このような更女会をこのたび第9代会長と言う大役を任せられ改めて責任の重大さを痛感しています。

毎月開かれていた定例会には、1人でも多くの参加を願い、活発な意見を出し合って笑顔が絶えない楽しい更女会として活動して行けたらと願っています。

また保護司会とのつながりも深く、社明運動、合同研修会、社会貢献に参加出来ました。

当更女会は、高齢化と次世代にどのように引き継いでいくかなどの課題を抱えながら、各団体の皆様と連携をとりながら一歩ずつ前進して参りたいと思います。

令和3年度東北地方更生保護女性会員研修会

板柳地区更生保護女性会

会長 齋藤 ヤツエ

コロナ禍での貴重な体験として 活動するように(日更女・千葉会長)



研修会は、昨年度青森県が当番の件として計画されましたが、昨今のコロナ感染症拡大の影響により延期となっていました。

しかしながら今年度オンラインを活用して9月16日(金)青森保護観察所に於いてようやく実施されました。

はじめに、太田育子地更女会長より「本来であれば会員が青森に集い、対面で研修会をもてたであろう。今回はリモート研修になってしまいましたが、有意義な研修となるよう念じて念じております。」と。

続いて、大場玲子東北地方更生保護委員長より「さまざまな活動を通して誰もが更女会を意識して、その輪が広がっていくことを願っています。」と。それぞれごあいさつがありました。

さらに千葉景子日更女会長よりメッセージが届けられ、「こんな時こそ将来を見据えてあせらず一歩踏みしめていきましょう。コロナ禍での貴重な体験として活動するように」と。励ましのおことばを頂きました。

◎令和2年度

「子育て支援地域活動」モデル地区発表

◎研修討議

主題 地域からより頼られる更生保護女性会を目指して



◎副題1、「食を生かす地域のつながりと子どもの健全育成について」

発表者 東北町更生保護女性会 乙供 洋子さん

◎副題2、東日本大震災から10年が過ぎ

発表者 改めて災害時の活動について 岩手県釜石地区更生保護女性会の会 久保理子さん

◎副題3、「誰一人取り残さない」共生社会を目指して

発表者 更生保護女性会ができる活動について 福島県会津美里地区更生保護女性会 元木 由美子さん

※特に副題1で発表された乙供洋子さんは、保育所の年長、中児を対象に地元食材にこだわって、農業体験、更に食改員との交流を広めてカレー作りをするなど食育活動をすすめた内容でした。

最後に大場委員長より励ましの言葉、講評を頂いて全日程を終了しました。

今回は塩原会長の総合同会で進められ、各県代表10名という限られた中で実施されましたが、私たちは役割を分担し、アイデアを出し合いいろいろシュミレーションしながら取り組んできました。

終わって見てほっとしたと同時に会員の信頼と感謝の気持ちが致します。ありがとうございました。

来年(令和4年度)は宮城県石巻市の予定です。

第53回「秋の集い」
 おもてなしの心と思いやりの心をお伝えしたい

青森県更生保護女性連盟
 五戸地区更生保護女性会

感染対策で表彰式の開催

五戸地区更生保護女性会

会長 三浦 智子

令和三年度「第五十三回秋の集い」が十一月二十六日、五戸町立公民館大ホールで開催いたしました。

昨年より、新型コロナウイルスが感染拡大し、今年も心配しておりましたが、感染拡大が収まらず、県は、緊急対策を九月に実施するとの発表を受け、当初、皆様に御案内しておりました十月十六日の「秋の集い」を延期することになりました。皆様の安心・安全を考え、時間短縮と人数も百名程度とし、感染対策もしっかり対応できるということで、表彰式の開催となりました。

式典では、開会のごとば、香淳皇后御歌、黙とう、更女会綱領、県更生連盟塩原会長の主催者挨拶、若宮五戸町長より歓迎の御挨拶をいただきました。続いて、会の発展や運営等に尽力された方々への表彰が行われ、受賞者の代表謝辞を三浦伸子さんが行いました。次に、ご来賓を代表して、三村青森県知事からのメッセージの続き、木村青森保護観察所長と、県保護司会連合会天



令和3年11月26日(金) 五戸町公民館で開催の「秋の集い」で主催者挨拶する県更女連盟塩原会長

内会長の代理で田中理事より御祝辞をいただきました。御来賓御紹介、宣言文、次年度開催地区の中泊町地区古川会長の御挨拶、閉会の言葉で終了いたしました。

コロナ禍の開催でしたので、人と人との触れあうおもてなしができず、それでも、五戸地区の会員一同、おもてなしの心と思いやりの心をお伝えしたいと思い、会場では、皆様をピアノの生演奏でお迎えし、開会までの間ステキなピアノの音色を聞いていただきました。また、玄関・受付・会場・各控え室・トイレ等、お花で飾らせていただきました。会員の皆様も、少しでもあったかい気持ちになっただけなら、うれしいです。

最後に、新型コロナウイルス感染が、一日も早く終息し、人と人が通常に触れ合える日常に戻ることをご心よりお祈り申し上げます。



受賞者代表(五戸地区)で謝辞を述べる三浦伸子氏



感染対策をしながらの参加者

令和3年度 更生保護女性会員中央研修 (オンライン)

講 告 報

日 時 令和4年2月9日(水)
13時30分から16時30分
場 所 青森保護観察所
受講者 塩原 誓子

あなたは「大切な人だ」と言う呼びかけが必要

昨年十一月に開催予定だった中央研修はオミクロン株感染増により、オンライン研修になりました。今回の参加者は、日更女協議員(連盟会長)とありましたので塩原が受講いたしましたので要約を報告させていただきます。

はじめに千葉会長から

この度も、皆さんと対面での研修が叶わず残念ですが、このような形でできたことを良しとし、今後の参考として活かしてほしい。

宮田法務省保護局長

『広がり、つながる更生保護』

コロナ過の長期化により「孤独」「孤立」が顕現、これはとても辛いことであり、そのような人には

- あなたは「大切な人だ」と言う呼びかけが必要
- 「大切な人」と言う思いの宛先となることで自尊心が生まれる

● 「自尊心」は、他者からの贈り物。他人の熱いまなざしにふれること、人に大事に思われることで、自分の存在をないがしろにできない大切なものとして感じられるようになる。

以上鷺田清一著「死なないでいる理由」(角川ソフィア文庫)

●銀座フェア

昭和24年「不幸な子供をすくいませう」それが大人の責任と引き受けた。

●更生保護の精神心

傷つきし心の子らを抱きよする
母ともなりて いつくしまなん (香淳皇后御歌)

●あなたが私でなくて、私があなたでないのはなぜか?

□運命は究極において偶然、誰の命も偶然に得られたもの、一人一人がかけがえのないもの

□呼びかけの応答は、「私」(自分)への呼びかけ
□出会いが成長につながる

●貌・言・見・聞・思 ↓ 「五事を正す」中江藤樹(近江聖人)

和やかな顔つき、思いやりの言葉、澄んだ目で物事を見て耳を傾けて聴き、真心を込めて相手を感じる。

●利他と言う事は「無心」「無欲」で見返りを求めない。

止むに止まれぬ意地がある。 ↓ 「ほっとけない」気持ち。

まとめ

- ① 「傷つく心」が見える想像力で
- ② 「ほっとけない」意地で
- ③ 「五事を正す」態度で
- ④ 「あなたは大切な一人」と言うメッセージを
- ⑤ 日常生活で(地域)に伝えていく



【研修委員からの報告】

事前のアンケートの中から七つの連盟の活動が報告されました。それぞれの地域の特徴を生かした活動でありとても参考になりました。

日更女が任意団体から一般社団法人に移行について説明がありました。要約するとこれまで以上に団体として付加価値がある、と言うことでした。

閉会に当たり

千葉会長から、現状だからこそ今までを振り返り、何か勉強を始めてみるのも良い、今は思索の時、正解は無い。悩み、学び、あせることなく、じっくりと誇りを持って方向を見出してほしいと結ばれました。

各連盟の活動事例、宮田局長の講義、千葉会長の励ましの言葉、どれも素晴らしいたいへん有意義な研修でしたので皆で共有し、今後に活かして参りたいと思います。力を合わせて頑張りましょう。

青森県更生保護関係団体交流会 令和3年12月23日 青森保護観察所

全体的に会員が減少しているのが現状。知人や関係団体へのお願いなど、できる事で対策を思案しています。2年間「みんなのつどい」が開催できず、活動資金に影響しています。ご協力ご支援をお願いします。



発表する塩原会長と柿崎副会長

給食奉仕活動

開催日/12月10日(金)

場所/更生保護施設

プラザあすなろ食堂

青森地区更生保護女性会・5名



コロナ禍の為、一時中断となっていた給食提供活動でしたが12月10日(金)に再開されました。冬期間(12月~2月)のうち12月と2月、当会が担当させていただくことになり5名であれこれ意見を出し合いメニューを決め、楽しくやることができました。

調理途中、ちょっとしたハプニングもあり、今後の参考にしたいと思います。

何よりも揚げたてのから揚げと温かい石狩鍋を食べてもらえたのでホットしました。

2月は魚をメインにしたメニューを予定していましたが、コロナ感染者急増でまたも中断となり本当に残念です。

後に参加者の方々から感想文を頂きました。どの手紙にも「温もりを感じました」「とてもおいしかった」「自分はなぜここに反省した」などの言葉がたくさんあり、皆が「ありがとうございました」と書いてくださり、とても嬉しく思いました。

皆さんのお役に立ててよかった。私たちからも「ありがとう」と言葉をお返しします。(塩原 記)

【参加者感想文】

本日、心あたたまる食事を頂きおいしかったです。何よりも更女会の方々が、私達のために時間を費やして一生懸命調理してくださった事は感謝してもしきれない思いです。

私自身は手の込んだ手料理はここ数年しんみり食べていなかったこともあり、とてもおいしかったです。そして、手作りしていただいた皆さんの温かさをしみじみと感じました。優しさ誠意を心に感じました。それを思うと私はこんな所に居て何しているんだと言う気持ちにかられたのが正直なところです。

この先も生活する上で「人に対する優しさ、思いやりの気持ちを大切にしよう」と思うと同時に、頑張らなくてはいけません。

今日の食事会を通し参加したことで

○手作り料理が暖かくおいしかったです。

○みな様が私達に対するあたたかみ、ぬくもりを頂きました。

人のやさしさ、思いよう、大切さを身にしみた次第です。

今後、私自身も人に対してのやさしさも決して忘れずに邁進して行きたいと思えます。更女会の皆様、本日はほんとうにありがとうございました。



本日のメニュー

主菜 といのから揚げ
副菜 石狩汁・人参とゆで卵
のサラダ・漬物・
フルーツ(リンゴ・柿)

広報委員ご紹介



青森地区更生保護女性会 広報委員長 金谷 多恵子

「広報紙」令和3年度役員改選にあたり、次の方々に新しく広報委員をお願いしました。

金谷 多恵子(青森・五所川原・つがる・中泊・鶴田地区担当)

柏崎 美江(十沢・東北町・野辺地・むつ・大間・東通り地区担当)

東田 静(十和田・八戸・三戸・五戸・六戸・おいらせ地区担当)

成田 さなえ(大鰐・弘前・平川・黒石・板柳地区担当)

「更女会だより」をより身近に親しみやすく感じていただくように各地区の皆様と連携をとりながら、無理せず楽しみながら活動を続けていきたいと思っております。

三沢地区更生保護女性会 会長 柏崎 美江

コロナ感染で厳しい状況にありますが、それでも各地区会、工夫を配慮しながら活動を続けている様子が伺えます。

令和3年 県連盟、神会長が退かれました。長年のご功績に頭の下がる思いでございます。

塩原新会長におかれましては、永年、神会長の元にて多くの経験を積み重ねておいでなので私達をお導き下さるものと安心して、ついてゆけたのです。

県内22地区が互いに助け合い、交流を重ねながら、充実した更女会でありたいと思っております。

「コロナ感染の出口が未だ見えない状況にありますが、どんな時でも相手を思いやる心、慈しみの心でいられるよう願わずにはいられません」

十和田地区更生保護女性会 会長 東 静

6地区の広報担当となり、今後、取校校正、原稿などお願いすることとなりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

当会はこの度、令和3年度「青森県ふれあい活動功労者」知事表彰されることになり(市・社協より推薦いただき11月末決定)1月6日県庁にて表彰を受けました。

昭和45年設立(通算51年)より、先導方から引き継がれている活動に對してです。大勢の皆様にご協力ありがとうございます。今後にも委員を増やしたり、更生保護女性会「コロナセイ?」どんな字を書くんですか?とよく聞かれます。の知名度をあげるべく、やる事がいっぱいあります。

又、改めてもう一度社会の一員として、生きまうとする人々の支えとなることを基本に社会の変化や地域の表情の下、日更女、千葉会長の言われるように「いそがず、あせらず、おごる事なく、ほこりを持ってボランティアを「盛さん」と一緒に活動していきたいと思っております。

大鰐地区更生保護女性会 成田 さなえ

「つぶやき」小さな声でフツフツと...ところが今更女会「つぶやき」などと言おうものならツイッターでツイートすることなのだぞ。年寄りにはついていけない世界ではございます。

新型コロナウイルス感染症の拡大は、私たちの日常生活を変えました。それに伴い、私たちの活動も非常に窮屈な現状にあります。今までの事業のほとんどが中止もしくは規模縮小になつております。

そんな日々の中で、私たちの会では今年全会員に「ホリちゃん」の黄色いTシャツを配布いたしました。それが更生保護女性会の会員であることを再認識し、状況が好転した際にはまた一緒に活動しようという願いを込めて、その黄色いTシャツを着て活動できる日がとても待ち遠しいですね。

それでも八月には会員研修としてDVD学習を致しました。参加者は少なめでしたが久しぶりの活動でしたので幾分充実感を味わったのではないのでしょうか?

集まりはできないけれどもいつもの暮らしの中で出来ることをしてまいります。

まずは「おはよう」「こんにちは」「おはよう」「おはよう」「おはよう」を繰り返してまいります。

「おはよう」「こんにちは」「おはよう」「おはよう」「おはよう」を繰り返してまいります。

令和3年度 受賞者名簿

おめでとうございます

法務大臣感謝状

(青森) 塩原 誓子

日本更生保護 女性連盟会長表彰

(青森) 浅井 良子
(青森) 山口 正子

東北地方更生保護 委員会委員長表彰

(青森) 福士 幾子
(三戸) 武士澤 厚子
(中泊町) 三上 春江
(五戸) 三浦 伸子
(板柳) 齋藤 ヤツエ

東北地方更生保護 女性連盟会長表彰

(弘前) 宮崎 春子
(五所川原) 金子 久子
(八戸) 小橋 てる子

(黒石) 八木橋 美知江
(三戸) 西館 トシ

(十和田) 岡山 邦子
(大鰐) 百澤 則子
(むつ) 樋口 てる子
(おいらせ町) 北向 くみ子
(中泊町) 大川 久美子
(野辺地) 古林 ケイ子
(三沢) 佐々木 則子
(東北町) 蛭名 和子
(五戸) 田島 良子
(つがる市) 柴谷 恵美
(鶴田) 三国 恵子
(六戸) 佐藤 貞子

青森保護観察所長 感謝状

(弘前) 成田 圭子
(五所川原) 垂石 恵江子
(八戸) 藤田 眞佐子
(黒石) 鳴海 ふさ
(三戸) 坂本 栄子
(大鰐) 成田 さなえ
(むつ) 柴田 慶子
(おいらせ町) 三村 享子
(中泊町) 宮越 幸子
(野辺地) 松野 まさ子

(三沢) 類家 トキ
(東北町) 蛭澤 栄子
(五戸) 江渡 英子
(板柳) 永澤 涼子
(つがる市) 成田 克子
(鶴田) 相川 順子
(六戸) 畑中 徹子

青森県更生保護 女性連盟会長表彰

(弘前) 相沢 美保
(五所川原) 山田 恵利子
(八戸) 佐々木 光子
(黒石) 山本 アイ子
(三戸) 永澤 静子
(十和田) 佐藤 鈴子
(大鰐町) 内海 きぬ
(むつ) 吉田 信子
(おいらせ町) 菅原 多恵子
(中泊町) 小寺 美智子
(三沢) 栢 洋子
(東北町) 蛭沢 久子
(五戸) 田村 ハナエ
(板柳) 横山 淳子
(つがる市) 長谷川 栄子
(鶴田) 坂本 洋子
(六戸) 南谷 英子

【仙台矯正管区長表彰】

青森地区更生保護女性会
大川 カズ子

【青森刑務所感謝状】

青森地区更生保護女性会
櫻庭 雅子

【社会福祉功労者 厚生労働大臣表彰】

鶴田地区更生保護女性会
宮本 はる枝

【県ふれあい活動 功労者知事表彰】

十和田地区更生保護女性会



第71回社会を明るくする運動 作文コンテスト

青森県更生保護女性連盟会長賞「さくら賞」 受賞作文



両方の気持ちを考えて

板柳町立
小阿弥小学校
6年

高谷 結衣
(たかや ゆい)

みなさんは「犯罪」と聞くと、どのような犯罪を思い浮かべますか。「殺人」や「詐欺」などをイメージするのではないのでしょうか。

私は、その「犯罪」の中には、いじめもふくまれるのではないかと考えます。なぜなら、いじめをすることによって、いじめられた人の心は傷つき、壊されてしまうからです。

また、最悪の場合、本物の命までうばわれてしまいます。

実際に、いじめがあった学校で、いじめられた人が亡くなったというニュースを見たことがあります。いじめに関するニュースは増えていて、最近では、いじめに関するニュースを見ない年はないのではないかと思うほどです。

私が三・四年生くらいの時は、このようないじめに関するニュースを見た時に、いじめられた人がかわいそう。いじめる人は、相手の気持ちを考えて行動していいのではないのかという、いじめられた被害者の気持ちばかりを考えて、いじめた人のことは悪い人としてしか考えていませんでした。正直言って、今でもいじめに関するのを見た時、聞いた時、聞いた時には、いじめられた人の気持ちばかりを考えてしまいがちです。ですが、前とはちがうところがあって、(どうしていじめてし

まったのだろうか。) (何かいやなことがあったのかな。)と、いじめた人の気持ちについても考えられるようになりました。

どうしていじめる人の気持ちも考えられるようになったのか。

そのきっかけは、お母さんです。

五年生の春頃に、弟が友達とけんかをしてしまいました。先に手を出したのは、友達の方だったそうです。それを聞いた私は、いじめに対しての考えと同じように、弟のことに考えませんでした。しかし、お母さんはちがいました。もちろん弟のことを一番に心配しますが、弟の方も何かしたのではないかと考えたのです。弟が何か言ったから、機嫌を悪くしてしまい、手を出してしまっただけという考え方。

こんな考え方をしたことがなかったので、私はおどろきました。思い出してみると、いつもお母さんは、

「あなたも何かしたんじゃない。」

と聞きます。私にはできていなかった考えを大人の人たちはできているから、もめ事が起こりにくいと思うと、すごいなあと思います。

この出来事から、人はいやなことがあると攻めをしたくなってしまっただけ、いやなことがなくなると、もめ事も少なくなるということを考えました。

これは、いじめでも同じことが言えると思います。いじめる人も、いやなことや悩みを抱えていて、その発散を「暴力」や「暴言」という形で行っていると思います。でも、だからといって暴力・暴言で、他の人を傷つけることは、やっぱりいけないことです。

では、どうやって悩みなどを消すのか、それは身の回りの人が行動することで解消すると思います。悩みがあるとしたら、聞いてあげる。できそうであれば解決の手助けをするなど、難しいし時間もかかるけれど、いじめをなくすためにやることは、たくさんあると思います。

もし、悩みに気づいたら、いじめになってもならなくても、話を聞くことで、一人救われると思います。

自分なりに、経験から考えてみても、いじめは、どちらか一方の気持ちを考えるだけでは解決しません。両方の気持ちを考えて、適切な方法を考えることが大切です。

いじめは、なかなかなくならないし、完全になくなるということは難しいかもしれないけれど、少なくなるだけで安心して生活できる人が増えるので、明るい社会につながっていくと思います。

自分の回りでいじめがあったら、もちろん、いじめがなくても、人の気持ちを考えることは大事なことで改めて思いました。

私は、これからも、人を思いやる気持ちを忘れたくないし、お母さんのように、いろんな考え方ができるような人間になっていきたいと思っています。

令和3年度 県連盟主要事業報告

令和3年4月1日～令和4年3月31日

月 日	行 事	場 所	出 席 者
令和3年			
4 5	三役会議	プラザあすなろ	塩原会長・副会長(乙供・齋藤・柿崎)
13	県連盟理事会	青森保護観察所	塩原会長 他24名
28	東北地方更女連会長等会議(テレビ会議)	青森保護観察所	塩原会長・柿崎副会長
5 11	三役会議	プラザあすなろ	塩原会長・副会長(乙供・齋藤・柿崎)
17	青森県更生保護女性連盟総会	アラスカ会館	各地区会長 他
23	三役会議	プラザあすなろ	塩原会長・副会長(乙供・齋藤・柿崎)
6 25	東北地方更生保護委員会 大場委員長来青(塩原会長と歓談)	青森保護観察所	塩原会長
7 12	三役会議	プラザあすなろ	塩原会長・副会長(乙供・齋藤・柿崎)
8 27	東北地方更生保護女性会研修会(テレビ会議)	青森保護観察所	塩原会長・副会長(乙供・齋藤・柿崎) 県連盟理事4名・広報編集委員2名
9 16	東北地方更生保護女性会研修会(テレビ会議)	青森保護観察所	塩原会長 他9名
22	東北地方更生保護女性会研修会(報告書作成)	プラザあすなろ	塩原会長 他9名
11 25	第53回青森県更生保護女性連盟「秋の集い」	五戸町立公民館	各地区から120名
26	津島淳法務副大臣来青(あすなろ視察)	青森保護観察所	塩原会長
12 23	青森県更生保護関係団体交流会	青森保護観察所	塩原会長・柿崎副会長
令和4年			
1 8	第71回“社会を明るくする運動” 作文コンテスト表彰式	アスパム	塩原会長・齋藤副会長
25	青森少年鑑別所 マナー教室	青森少年鑑別所	塩原会長・柿崎副会長
2 9	更生保護女会会員中央研修会(オンライン)	青森保護観察所	塩原会長
21	三役会議	プラザあすなろ	塩原会長・副会長(乙供・齋藤・柿崎)
25	青森少年鑑別所 マナー教室	青森少年鑑別所	塩原会長・柿崎副会長
3 11	令和3年度更生保護関係団体連絡協議会	青森保護観察所	塩原会長
3 29	東北地方更生保護女性連盟会長会議	仙台法務合同庁舎	塩原会長



成田 さなえ 広報委員
 柏崎 美江 広報委員
 東 静 広報委員
 金谷 多恵子 広報委員長

生保護の活動を多く
 の方々に知っていた
 だければと思ってお
 ります。発刊に際
 し、お忙しい中ご寄
 稿いただききましま
 した。ありがとうございます。

今まで各地区の活
 動を「シリーズ地区
 活動」として掲載し
 てきましたが、次回
 より「つぶやき」とし
 て掲載いたします。
 広報紙を通して更

あ ち が き